

---

# 旧佐渡鉱山 北沢地区工作工場群跡地広場および大間地区大間港広場 が 土木学会デザイン賞2013 奨励賞 を受賞

2013/11/26

---

## 旧佐渡鉱山 北沢地区工作工場群跡地広場および大間地区大間港広場 について

日本海に浮かぶ佐渡島に所在する相川町は、かつて幕府直轄領であった鉱山都市であり、近世の都市骨格を色濃く残す町である。明治以降も日本で最も早く鉱業の近代化が進められ、生産量・技術ともに国内の貴金属鉱山をリードする存在であった。平成元年まで操業を続けた旧佐渡鉱山には、一連の鉱山施設群が多数残っており、国指定史跡としてその保護がはかられている。本プロジェクトは、旧佐渡鉱山の本部機能が置かれた北沢地区にある工作工場群および鉱石などを搬出入した大間港の一部を、周囲に残る近代化遺産群と一体的な広場として整備したものである。



旧佐渡鉱山 北沢地区工作工場群跡地広場  
<http://www.eau-a.co.jp/works.html#ktz>



旧佐渡鉱山 大間地区大間港広場  
<http://www.eau-a.co.jp/works.html#omk>

## 審査員による講評

現地を訪れ、まずは、数々の産業遺産群の迫力に圧倒された。そして、いまもなおカラカラと朽ち果て続けているという眼前の時の流れに身を委ねつつ、過去の繁栄の時代に思いを馳せる空間を獲得しようとする設計者の意図は、実に控えめなデザインを指向する広場を見れば明快だ。圧倒的な時の重みに敬意を持って接しようとする謙虚な姿勢には、心から共感できる。

ただ、ニュートラルな気持ちで歴史に向かい合いたい場所に、ノスタルジックな雰囲気やその意味を発しがちなレンガという素材が、少し主張しすぎているような感じも受けた。また、旧佐渡鉱山・北沢地区工作工場群跡地広場については、建屋が存在した痕跡がレンガ舗装の通路によって説明的に視覚化されて、来訪者の想像力をかえって削いでしまわないかなとも思った。

設計者の真摯で丁寧な取り組みには好感が持てるが、時空を超えて場を思うための広場のデザインは、今以上にさらに控えめであってもよかったのではないだろうか？

## 土木学会デザイン賞2013について

土木学会デザイン賞とは、公益社団法人土木学会景観デザイン委員会が主催する顕彰制度です。授賞式は、2014年1月26日(日)午後15時に土木学会にて開催されます。

<http://www.jsce.or.jp/committee/lsd/prize/>

---

## 有限会社イー・エー・ユー

〒113-0033 東京都文京区本郷6-16-3 幸伸ビル2F

tel : 03-5684-3544 / fax : 03-5684-3607 / mail : [tokyo@eau-a.co.jp](mailto:tokyo@eau-a.co.jp) / web : [www.eau-a.co.jp](http://www.eau-a.co.jp)

---